

会議録

会議の名称	令和5年度第11回西東京市教育計画策定懇談会
開催日時	令和6年1月29日(月曜日)午前9時30分から
開催場所	田無第二庁舎4階会議室2・3
出席者	<p>【委員】種村座長、川原副座長、竹之内委員、落合委員、竹田委員 小林(正和)委員、荘委員、瀬沼委員、鈴木委員、西原委員、澤井委員 小林(宏)委員 (欠席)菅野谷委員</p> <p>【事務局】松本教育部長、飯島教育企画課長、近藤学務課長、田村教育指導課長、田中教育部副参与兼教育支援課長、吉田社会教育課長、徳山図書館長、佐々木教育企画課課長補佐兼企画調整係長、望月教育企画課企画調整係主任、神戸教育企画課企画調整係主事 (欠席)清水教育部特命担当部長、三田教育部主幹兼統括指導主事、福所公民館長</p> <p>【傍聴人】1人</p>
議題	<p>議題1 パブリックコメントに係る報告について</p> <p>議題2 次期教育計画案について</p> <p>議題3 その他</p>
会議資料の名称	<p>資料1 西東京市教育計画(令和6年度～令和10年度) パブリックコメントに係る報告</p> <p>資料2 パブリックコメント意見一覧(回答案)</p> <p>資料3 西東京市教育計画案</p> <p>資料3-1 素案からの修正事項について(パブリックコメント以降)</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><開会></p> <p>○事務局 前回会議録(案)について、この内容でまとめることにする。</p> <p>議題1 パブリックコメントに係る報告について</p> <p>○事務局 (資料1、2について説明)</p> <p>○座長 パブリックコメントに係る報告について説明があった。御意見を伺う。 ないようなので、議題2に移る。</p> <p>議題2 次期教育計画案について</p> <p>○事務局 (資料3、資料3-1について説明)</p>	

○座長

前回、素案を作ってそれを基にパブリックコメントを行った。今の説明によると、今回の教育計画案について大きな変更はなかった。あとはコラム等で詳しく説明をするなどの微調整が資料3-1に示されている。御意見を伺う。

○G委員

コラムの件について、どのページに載るのかももう一度教えていただきたい。

○事務局

43 ページ「西東京ふるさと探究学習」、66 ページの「コミュニティ・スクール」、78 ページ「“西東京市モデル”の小中一貫教育」の所でコラムとして紹介できるよう、掲載を予定している。

○D委員

53 ページにも「「個に応じた教育」とは」という所があるが、こちらもコラムとして載るのか。

○事務局

掲載を予定している。

○座長

コラム等については事務局にお願いしていくという事で、それまでの計画を提言として出していくという事でよろしいか。

○事務局

コラムに関する説明は、簡単に一例を挙げさせていただいた。この他にもコラムを掲載する予定である。

○座長

コラムの内容を見ていると、非常に解釈が難しいと思われる。専門家や先生方でもこれを回答してくださいと言ったら、すぐに答えられる人は少ないのではないかと。人によって解釈が違う可能性もある。文部科学省が出しているものに基づき、西東京市とついている場合は、それを基にしながら西東京市バージョンで考えたコラムということよろしいか。

○事務局

そうである。

○座長

例えば「個別最適な学びと協働的な学び」となれば、これは文部科学省が作成した内容をコラムに入れるということと、「“西東京市モデル”の小中一貫教育」となれば、これは国を基本として、西東京市のもので進めていくということで、ぜひお願いしたい。他に御意見があれば伺う。

○G委員

パブリックコメントの中にもこの教育計画自体を理解するのが難しいという意見があるので、どこに教育計画の着眼点があり、どのように展開されるのかを簡単に分かりやすく作成していただきたい。

○事務局

分かりやすい説明ということで、本編とは別に概要版を作成する予定である。そのほか、子ども向けの概要版や、様々な方が分かりやすいような説明にしたものを作成する予定である。

○C委員

概要版をより浸透させるために、時代に合ったデジタルでの発信は予定していないのか。大人だけでなく子どもたちにも浸透させていくために、何か工夫をしていただきたい。

○事務局

計画が完成したら市ホームページ等で公開させていただく。それに合わせて市の公式SNSでも展開していくことを考えている。

○座長

他に御意見があれば伺う。今話があったような周知の仕方などの御意見があればお願いしたい。前回1人一言ずついただいたが、本日の懇談会が最終回ということで、前回一言いただいていない方や更にもう一言お話したいという方に伺いたい。

○副座長

大変丁寧にまとめていただいて感謝申し上げます。議論が非常に多岐に渡る中、28、29 ページの体系図を拝見しても、網羅的に丁寧に作っていただいたと思う。完成版に近づいてきた中で、資料版の用語集では必要な要望をきちんと網羅されていて、非常に分かりやすいので、先ほど話にもあったが、発信という所も含めて、分かりやすい資料として作っていただいている印象を受けた。私は今回社会教育委員の立場で参加しているが、28、29 ページの方針の所を見ても、基本方針4の生涯学習の部分に関しては、特に100年時代ということで、変化も大きい状況の中でより長く学び続けていくことの意味は非常に大きいと思う。引き続きこの計画がより推進していけるような形で色々な取組を期待したい。

○座長

他に御意見があれば伺う。

○H委員

初めて参加したが、教育計画が学校の芯の部分を考えなければいけないと感じる会議であったと思う。パブリックコメントの意見を拝見し、学校に対する厳しい御意見があるが、逆に考えると期待をされているのだと思う。私も学校を預かる身としては責任を感じるころである。今回策定され、計画が進んでいく段階で、どれだけきちんと教職員に説明をし、しっかり理解してもらい、子どもたちに浸透させていくのか

という部分を大事にしていかなければいけないと思う。今、来年度の教育課程を作っており、これから教育委員会とも相談しながら、各校の計画が固まっていく。保護者や地域の方の思い、こういう学校にしてほしいという意見も多数寄せられるので、そのような意見をしっかり汲み取りながら、教職員や管理職だけでなく、学校全体、教職員全体で、子どもたちのために学校をこうしていきたいと発信していきたいと思う。とても有意義な会議に参加させていただき感謝申し上げます。

○座長

今回学識経験者として参加し、座長をさせていただいた。各市町村、東京都、全国の小学校長会があり、私は東京都と全国の校長会長を2年間やらせていただき、それがあって参加させていただいた。昨年11月に、都道府県の校長会長である当時の常任理事が代表として集まる交流会があった。元校長会長として現場を見て心配しているのは、文部科学省などの答申や提言があり、その内容はもともとであり、素晴らしいものであるが、現場がそれについていけず乖離してしまうことである。現場は対応しようとしているが、あまりにも課題が多すぎてなかなか全部対応できないのが現状である。そのしわ寄せが子どもにいかないようにするために、学校だけに任せるのではなく、地域の方や保護者の方と連携を図っていくことが、今ほど求められている時期はないのではないかと思います。計画案を策定したが、私も様々なところで関わりを持ち、最終的に子どもたちのために支援ができるよう考えている。委員の皆様にもぜひお願いしたいと思う。私も教育計画策定時に教育委員会にいたことがあり、縁あって校長という形でまたこの懇談会に関わることができ、非常に嬉しいと思う。西東京市の教育がますます発展するために、またご縁があれば子どもたちのために一緒に取り組むことができたらいと思う。

3 その他

○事務局

本日の議事内容については、追ってメールで確認依頼をさせていただく。

<閉会>